

令和2年度第4回 防災担当者会議(No.74)議事録

開催日時 12月19日 14時～15時30分

開催場所 ファッション美術館第1セミナー室

出席者 25名

配付資料

- 業務用無線機 利用可能状況 調査表(實光会長より)
- 2021年1.17 全戸一斉防災訓練について
 - 添付1 2021年1.17 全戸一斉防災訓練実施要領
 - 添付2 街区からの聞き取り表(@ふれあい会館) 2021年1月17日
 - 添付3 2021年1.17 全戸一斉防災訓練 結果報告書(1月23日防災担当者会議)
- <過去の報告資料>
 - 添付4 2019年1月17日全戸一斉防災訓練報告
 - 添付5 2019年1.17 全戸安否確認訓練結果発表0222役員会資料
- 2021年3.14地域防災訓練について
 - 添付1 2020年3月15日 給水訓練タイムスケジュール
 - 添付2 2.15 発表 3.15 実施予定地域防災訓練活動内容
 - 添付3 2019年9月21日に実施した地域防災訓練(給水訓練)に関連した六甲アイランドだより
 - 添付4 10月19日第67回防災担当者会議議事録メモ
 - 添付5 応急給水訓練実施結果の報告

議事内容 :

配布資料の順に説明し、出席者からの質問、意見を頂戴しながら進行した。

1. 業務用無線機 利用可能状況 調査表

自治会は業務用無線機6台を所有、チャンネル20、21を共有チャンネルとして積水ハウスGMパートナーズの業務用無線機とつないでいる。

積水ハウスGMパートナーズ関与の街区には、管理室に2台業務用無線機がある。それ以外の街区で、無線機を購入された街区は、以下の点を調査のうえ記入、次回防災担当者会議に提出していただきたい。

1.共有チャンネルが 20、21 になっているか

2.出力数(通常は5W)

また、街区のみで交信するための無線機についても、記入欄を設けているのでそちらに記入をお願いします。

提出いただいた結果については、自治会災害対策本部マニュアルの参考資料とする。

2. 2021年 1.17 全戸一斉防災訓練について

RIC 自治会では、2011 年 1 月から日曜日に全戸一斉安否確認訓練を実施し、自助・共助・公助の中の共助を強化して、近々の発生が危惧されている南海トラフ巨大地震に備えてきた。

皆様の努力で安否確認方法が一定の確立、定着を見たことから、2018 年からは開催を神戸市シェイクアウト訓練に連携して 1 月 17 日に移したが、これ迄は平日開催になった為、現在はさまざまな問題点が見えてきたところだった。しかし、今回の 2021 年 1 月 17 日は日曜日にあたるので、この日の全戸一斉防災訓練では、災害対策本部の要である管理組合理事の皆様に、安否確認訓練を中心とした防災訓練を主導していただき、その手法等を再確認願いたい。

添付資料 1 2021 年 1.17 全戸一斉防災訓練実施要領

全戸一斉防災訓練は、各街区・マンションの管理室に設置している、防災行政無線ラジオ型受信機からの放送を聴取し、それを合図に管理組合にて災害対策本部を立ち上げていただく。

神戸市危機管理室から、放送時刻は10時10分ごろ、との連絡があったので、これにより要領書の文言を以下のように修正する。

災害想定規模

- ① 南海トラフ巨大地震の発生時間:午前10時⇒ 午前10時10分

防災訓練の実施方法

午前 10 時 各街区管理室に設置の…⇒ 午前10時10分 各街区管理室に…

訓練結果報告は、当要領書の記入欄に必要事項を記入し、街区名、担当者名を記入のうえ、ふれあい会館へ Fax 送信していただくことも可能。

ふれあい会館 Fax 番号: 857-7376

ふれあい会館での、災害対策本部設置時間は、10 時 15 分～12 時まで。

Fax 送信はこの時間内をお願いします。

添付資料2 街区からの聞き取り表(@ふれあい会館) 2021 年 1 月 17 日

安否確認結果の、街区からの報告内容および自治会災害対策本部の聞き取り表において、11月21日防災担当者会議にて、住人の安全が確認できたかどうかをより明確にすることで懸案としていた文言は以下のとおりとする。

安全確認済み住居数 および 安全未確認住居数

添付資料3 2021年1.17 全戸一斉防災訓練 結果報告書(1月23日防災担当者会議)

1月23日に実施する防災担当者会議では、当資料を用いて結果報告を行っていただく。

1番から13番迄の確認項目の内、12番の「災害対策本部マニュアルについて」は、各街区の災害対策本部マニュアルについて、訓練中に、不備がある、あるいは、わかりにくいと感じたか否かについての確認です。もし、不備がある、あるいは、わかりにくい点については、次年度の課題とする。

注記;マニュアルは、いざという時、誰が見てもすぐにわかるよう、修正する必要があります。

また、13番の「今後の課題や、訓練への所感」に関しては、今回の訓練を通じて、感じられた問題点などに基づく改善すべき事や今後の課題を自由に記入する。

以上、発表した内容は、後日、添付資料4、5のような表にまとめて、2021年4月防災担当者会議でご報告する予定。

3. 2021年3.14地域防災訓練について

2021年3月14日実施予定給水訓練について、今年中止した2020年3月の準備資料に基づき説明する。2021年1月防災担当者会議では、2021年版用に改訂した資料を準備する。

給水訓練では、2019年9月実施の、給水ポンプ能力検証実験(添付資料4及び5参照)において、以下7つの指針が示されている。

1. 被災4日目に給水施設を開設する。
2. 施設付属のエンジンポンプ及び手動ウイングポンプを使用して給水活動を実行する。
3. 給水稼働時間は1日8時間とし、状況に応じて延長する。
4. 給水管ユニットは3組(24給水栓)で給水対応する。
5. エンジンポンプを被災時の常用給水ポンプとする。
6. 手動ウイングポンプは、エンジンポンプ不具合時のバックアップ予備機とする。
7. 街区及び個人への配水方法は20ℓ入りポリタンク及び6ℓ入り給水リュックを使用する。

注記; 以上の指針は、決して絶対的なものではなく、今後の毎回の訓練を通じて、この内容で本当に問題無いか実際に検証し、問題があれば、随時、柔軟に改訂していくものである。

添付資料1 2020年3月15日 給水訓練タイムスケジュール

2021年地域防災訓練では、2020年3月15日 給水訓練タイムスケジュールと同スケジュールで訓練を行う。街区の皆様は、シティヒル東緑地に午前10時に集合し、自治会及び水道局職員とともに給水施設を設営し、その後、20ℓポリタンクを使用して給水訓練を開始する。給水が終わった街区は、順次、それぞれの街区に向かって出発し、各街区にて、住民への水の配給訓練を開始する。すなわち街区の皆様にとって、2021年地域防災訓練では、シティヒル東緑地で水を受け、それを街区まで運んで、住民のもとに配給するまでが訓練である。

添付資料2 2.15 発表 3.15 実施予定地域防災訓練活動内容

この資料は、2020年2月15日に各街区から発表していただいた、3.15 実施予定地域防災訓練での活動内容である。2021年地域防災訓練での活動計画の参考にさせていただきたい。過去の訓練より、20ℓポリタンクでは運搬に苦勞するおそれがあることから、訓練では運びやすい容器(2ℓペットボトル)の利用に言及したが、給水現場での混乱が予想されるため、給水栓からは、20ℓポリタンクに受水することとした(2ℓペットボトル等は、20ℓポリタンクからの小分け用として使用)。

【街区からのご質問】

◎3本給水ユニット8時間運用で、どれぐらいの給水が可能なのか？ また、給水した容器を車に載せたとしても、現場の車列に巻き込まれて身動きが取れない状況が予想される。現実に即したプランがなければ、訓練はできないと考えるが？

【生活安全部飯沼氏からの回答】

9月実験により、20ℓポリタンクを満水にする時間は計測済み。現場では、給水ユニットを3本使用し、イースト、ウエスト、個人給水用に分けることになっている。必要なのは、各街区がどれだけのポリタンクを使って給水するのか、それによって何台の車で現場まで来るのかというデータである。そのためにも次からの給水訓練、特に、街区からシティヒルへ、シティヒルから街区へ受水ポリタンクを運搬し、各戸へ配布する訓練が重要となる。 <冒頭の注記を参照>

【實光氏からの発言】

添付資料4 議事録メモから、現在のところ1日に満水にできる20ℓポリタンクの数3000個、さらに理論上は8400個となっており、給水能力は全住民に必要な水量を給水するのに十分と考える。問題は、水をいかにして各戸に配布するかである。3本の給水ユニットは、街区からの給水グループには時間制で割り当てる。車のほうも、ひとを割り当てて交通整理する。20ℓポリタンクで持ち帰った水を、各街区でどのように各戸へ配布するか。上階へはどのように運び上げるか、あるいは、生活水はどうするのか。タンクを持っている街区は、どのようにその水を利用するか、など、街区で

考えていただかなければならない問題は多々ある。現在、もっとも重要なのが、各街区がどのような方針で給水活動をするか、である。

【E11 防災担当者からの発言】

高齢者に限らず、水の問題は大きい。遠くの親戚を頼ってでも、逃げられるなら逃げるべきだ。高層階での長期にわたる被災生活は現実味がない。必要水量にしても、ひとり1日2ℓで済むはずはない。

【實光氏からの発言】

確かに、安全な地域へ移動することも、手段のひとつである。しかし六アイにとどまる人もいるだろう。阪神淡路大震災のときは、2階ずつ、水をリレー方式で上階へ運搬した。工夫できることはたくさんある。

【飯沼氏からの発言】

各街区での水の配布については、街区ごとに決めてもらわなければならない。そのうえで、水の配布をしない街区、する街区、するのであれば、どれぐらいの水を取りに来るのか、決めてもらわなければならない。

上記のような発言から 2 月防災担当者会議では、各街区の方々から以下のことをご報告願うこととした。

3 月給水訓練における参加形態(参加人数、使用ポリタンク数、街区での配布の仕方など)

次回、第 5 回防災担当者会議(第 75 回)のお知らせ

《開始時刻にご注意を》

開催日時 : 2021年1月23日 14:00~15:30

開催場所 :

ファッション美術館 4 階 第 1 セミナー室にて